

第 25 回全国経験交流ワークショップ in 徳島 分科会

令和元年 7 月 13 日 9:00~11:50

面接 + ひとり S S T にコインマップを活用する

発表者および共同発表者の氏名と所属

- (1) 品田 秀樹 新潟県長岡地区保護司会保護司
- (2) 前田 ケイ ルーテル学院大学名誉教授
- (3) 八木原 律子 セミナーハウス円(まどか)代表

面接効果を高める技法「コインマップ」のひとり S S T における活用について学びましょう。コインマップとは当事者が、いま自分と関わりのある人たちとの関係をどう感じているか、その気持ちに従ってコインを置いていく方法です。アセスメントに有効であり、また、支援者が当事者に、いまの配置をどう変えていきたいかを聴くことから、S S T の具体的な練習課題を一緒に見つけて、練習の動機づけに用いることができます。

コインマップには以下のような利点があります。

- ① 一緒にやっている感じが強く、面接者との関係が早く強まる。
- ② お互いの顔を見ずに 2 人ともコインを見ているので会話に伴う緊張が少なく済む。
- ③ 若い人はゲームに慣れているので、ゲーム感覚で楽しみながら気付きを深めることができる。
- ④ やりながら、自分の気持ちを話しやすくなり、通常の面接より深いレベルの感情を短期に表出する可能性がある。
- ⑤ 自分の抱えている人間関係上の課題がやりながら整理されて、長期目標、短期目標、とりあえずの目標が設定しやすい。
- ⑥ コインは価値を表すという潜在的な可能性があり、置いていく順番や置く距離などで当事者の関係者との人間関係への気持ちを視覚的にとらえることができ面接者、当事者双方に分かりやすい。

コインマップは将棋か囲碁を指しているような雰囲気の中で当事者の対人状況を視覚的につかむことができ、当事者の役に立ちます。一緒に S S T の具体的な練習課題を明確にし、練習への動機付けをするばかりか、時を置いて再度、コインマップをつくり、変化をモニターすることが可能です。